

## 41巻 : 標題紙, 目次, 奥付

雑誌名	障害科学研究
巻	41
発行年	2017-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00146127">http://hdl.handle.net/2241/00146127</a>

# 障害科学研究所

2017年3月31日発行

第41巻

2017. 4. 27

筑大図  
本学

- 原 著**
- 1 丹所 忍・小林 秀之：  
先天性視覚障害児の空間イメージ操作能力と心的走査における空間参照枠の移動の有無との関連
- 13 濱田 香澄・青木 真純・岡崎 慎治：  
定型発達成人の不注意傾向と問題解決過程に関わる前頭前皮質活動との関連
- 23 小菅 英恵・熊谷 恵子：  
運転時・歩行時の注意不全尺度の作成と信頼性・妥当性の検討
- 33 石田 修：  
吃音者における遅延聴覚フィードバック下の流暢性発話に関する脳活動—近赤外分光法を用いて—
- 資 料**
- 45 神山 努：  
スクールワイドPBISの研究に関する現状と課題
- 59 宮内 久絵：  
1980年代イギリスにおける盲学校の廃校とその要因
- 69 丹野 傑史：  
東京教育大学教育学部附属桐が丘養護学校の養護・訓練における動作訓練導入過程—研究紀要の分析—
- 81 大石 智子・佐々木 銀河・野呂 文行：  
自閉スペクトラム症幼児におけるモーラに応じた音声模倣および命名の獲得—モーラリズムタッピング手続きによる指導効果の検討—
- 91 内海 友加利・安藤 隆男：  
特別支援学校教員の初任者研修における実施内容の姿選—自治体における校外研修に着目して—
- 105 佐藤 雅子・米田 宏樹：  
知的障害教育における生活経験としての「遊び」の指導の展開
- 121 立浪 朋子：昭和戦前・戦中期富山県の感化院・少年教護院における職業教育の実科からの分化とその要因
- 135 岩崎 優・米田 宏樹：  
戦後の「精神薄弱」に関する三木安正の思想—教育の場と方法に着目して—
- 149 工藤 滋・岡 愛子・原 早苗・和田 恒彦：  
低周波鍼通電療法習得のための学習事項と盲学校理療科生徒の坐骨神経鍼通電の習得上の困難さの関係に関する研究
- 163 加藤 彩・小林 秀之：  
視覚特別支援学校における「寄宿舎教育」の実態
- 短 報**
- 173 關山 繁樹・趙 成河・倉光 晃子：  
特別支援学校の不登校に関する予備的検討
- 実践報告**
- 183 半田 健・平嶋 みちる・野呂 文行：  
行動問題を示す発達障害児童の特別支援学級担任を対象とした行動コンサルテーション—望ましい行動に対する行動契約の効果—
- 195 關山 繁樹：選択性緘黙を示す小学生の担任、母親および特別支援教育コーディネーターへのコンサルテーション
- 209 池田 彩乃・安藤 隆男：  
特別支援学校との協働に基づいた小学校通常学級に在籍する脳性まひ児に対する個別の指導計画の作成—センター的機能を活用して—
- 221 佐々木 銀河・青木 真純・五味 洋一・野呂 文行：  
自閉スペクトラム症のある大学生における自主学習の促進：行動契約法を用いた学習に対する動機づけの向上
- 231 石阪 菜未・安藤 隆男：  
授業におけるPDCAサイクルの分析—家庭への訪問教育を初めて担当する教師を対象にして—
- 243 福原 安里・加藤 靖佳：  
高度難聴児への呼吸制御のための指導効果



- Original Articles**
- 1 Shinobu TANSHO and Hideyuki KOBAYASHI  
Relationships between Spatial Image Manipulation Ability and the Movement of Reference Frame in Mental Scanning by Children who are Congenitally Blind
- 13 Kasumi HAMADA, Masumi AOKI and Shinji OKAZAKI  
The Relationship Between Tendency for Inattention and Prefrontal Cortex Activity During Problem Solving in Typical Developing Adults
- 23 Hanae KOSUGE and Keiko KUMAGAI  
Development of the Attention Dysfunction While Driving and Walking Scales, and Its Reliability and Validity
- 33 Osamu ISHIDA  
Brain Activity in Adults who Stutter During Fluent Speech with Delayed Auditory Feedback: A Functional Near-infrared Spectroscopy Study
- Brief Notes**
- 45 Tsutomu KAMIYAMA  
An Analysis of Research on School-Wide Positive Behavior Interventions and Supports
- 59 Hisae MIYAUCHI  
The Process and the Reasons Behind the Closure of Special Schools for the Blind in 1980s England
- 69 Takahito TANNO  
Introduction Process of "Dohsa-kunren" as "Yogo-kunren" in Kirigaoka School for the Physically Challenged, Tokyo University of Education: Focusing on Bulletin.
- 81 Tomoko OISHI, Ginga SASAKI and Fumiyuki NORO  
Acquisition of Vocal Imitation and Naming Skills Using Mora in a Young Child with Autism Spectrum Disorder—Effects of Mora Rhythm Tapping Procedures—
- 91 Yukari UTSUMI and Takao ANDO  
In-service Training Program for Novice Teachers of Special Needs Schools: Focus on Off-the-Job Training of a Prefectural Board of Education
- 105 Masako SATO and Hiroki YONEDA  
Development of Teaching Playing as Life Experience in Education for Children with Intellectual and Developmental Disabilities
- 121 Tomoko TACHINAMI  
The Factors of the Differentiation of Vocational Education from Practical Education in the Reformatory of Toyama Prefecture Before and During World War II in the Showa Period
- 135 Yu IWASAKI and Hiroki YONEDA  
Analysis of Yasumasa Miki's views on "Mental Retardation" in the Postwar Period: Focusing on the Placement and Method of Education
- 149 Shigeru KUDO, Aiko OKA, Sanae HARA and Tsunehiko WADA  
Study on the Relationship between Learning Matters of Electric Acupuncture and the Difficulties Encountered by Students for Learning Electric Acupuncture to Sciatic Nerve at Acupuncture-moxibustion and Manual Therapy Courses of Blind Schools
- 163 Aya KATO and Hideyuki KOBAYASHI  
The Actual Situation "The Dormitory Education" in Special Needs Education School for the Visually Impaired
- Short Report**
- 173 Shigeki SONOYAMA, Sungha CHO and Akiko KURAMITSU  
Preliminary Study of Non-attendance at Schools for Special Needs Education
- Practical Reports**
- 183 Ken HANDA, Michiru HIRASHIMA and Fumiyuki NORO  
Behavioral Consultation for a Special Needs Education Classroom Teacher of a Student who has Developmental Disabilities and Demonstrates Problem Behaviors: Effects of Behavior Contract for Desired Behavior
- 195 Shigeki SONOYAMA  
Consultation With the Teacher, Mother, and Special Education Coordinator of an Elementary School Student With Selective Mutism: A Case Study
- 209 Ayano IKEDA and Takao ANDO  
Designing Individual Teaching Plans for a Child with Cerebral Palsy in a Regular Elementary School based on Collaboration with Special Needs School: Utilization of Function as a Resource Center
- 221 Ginga SASAKI, Masumi AOKI, Yoichi GOMI and Fumiyuki NORO  
Facilitation of Self-learning in a College Student with Autism Spectrum Disorder: Improvements of Motivation for Learning by Using a Behavioral Contracting
- 231 Mami ISHIZAKA and Takao ANDO  
Analyzing PDCA Cycle of Lessons for First Year Teacher of Home Visiting Education
- 243 Anri FUKUHARA and Yasuyoshi KATO  
The Usefulness of Guidance Influence Used for Breathing Control for Advanced Cases of Hearing Loss in Children

編集委員長	竹田 一則 (筑波大学)		
編集委員(理事)	安藤 隆男 (筑波大学)	尾崎 久記 (茨城大学)	
	柿澤 敏文 (筑波大学)	河内 清彦 (筑波大学)	
	園山 繁樹 (筑波大学)	大六 一志	
	鄭 仁豪 (筑波大学)	柘植 雅義 (筑波大学)	
	野呂 文行 (筑波大学)	前川 久男 (いわき短期大学)	
	米田 宏樹 (筑波大学)		
査読委員	安藤 隆男 (筑波大学)	池谷 尚剛 (岐阜大学)	
	池本喜代正 (宇都宮大学)	石川由美子 (宇都宮大学)	
	一木 薫 (福岡教育大学)	宇野 彰 (筑波大学)	
	大石 幸二 (立教大学)	大村 美保 (筑波大学)	
	岡崎 慎治 (筑波大学)	岡 典子 (筑波大学)	
	加藤 靖佳 (筑波大学)	河合 康 (上越教育大学)	
	河内 清彦 (筑波大学)	川間健之介 (筑波大学)	
	蒲生 俊宏 (日本社会事業大学)	木村 素子 (群馬大学)	
	熊谷 恵子 (筑波大学)	下司 優里 (流通経済大学)	
	小島 道生 (筑波大学)	小林 秀之 (筑波大学)	
	佐島 毅 (筑波大学)	佐竹 真次 (山形県立保健医療大学)	
	左藤 敦子 (筑波大学)	佐藤 克敏 (京都教育大学)	
	三益 亜美 (大阪教育大学)	塩川 宏郷 (筑波大学)	
	園山 繁樹 (筑波大学)	大六 一志	
	高野 聡子 (東洋大学)	高橋 甲介 (長崎大学)	
	武居 渡 (金沢大学)	竹田 一則 (筑波大学)	
	丹野 傑史 (長野大学)	鄭 仁豪 (筑波大学)	
	柘植 雅義 (筑波大学)	野呂 文行 (筑波大学)	
	原島 恒夫 (筑波大学)	前川 久男 (いわき短期大学)	
	松岡 勝彦 (山口大学)	松下 浩之 (山梨大学)	
	宮内 久絵 (筑波大学)	宮崎 眞 (明治学院大学)	
	宮本 昌子 (筑波大学)	牟田口辰巳 (広島大学)	
	森地 徹 (筑波大学)	山中 克夫 (筑波大学)	
	四日市 章 (筑波大学)	米田 宏樹 (筑波大学)	
	和田 恒彦 (筑波大学)		
編集幹事	塩川 宏郷 (筑波大学)	猪俣 朋恵 (筑波大学)	
	野口 代 (筑波大学)	茂木 成友 (筑波大学)	

## 障害科学研究

第41巻 (2017, Vol. 41)

平成29年3月31日発行

編集 障害科学学会 編集委員会

発行 障害科学学会 会長 四日市 章

発行所 障害科学学会  
〒305-0836 茨城県つくば市山中152-4  
e-mail info@adsj.gr.jp

印刷所 前田印刷株式会社筑波支店  
〒305-0836 茨城県つくば市山中152-4  
電話 029(875)6696

## 投稿規定

1. 本誌は、障害科学学会の機関誌であり、年1巻発行する。なお巻号は前身の雑誌である「心身障害学研究」を引き継ぐものとする。
2. 本誌の執筆者は障害科学学会会員に限る。
3. 本誌の編集は、障害科学学会編集委員会の責任のもとに行われる。
4. 本誌には未公開の和文または英文で書かれた障害科学に関する「原著論文」、「資料論文」、「短報」、「展望論文」などオリジナルな学術論文、実践報告会等でモデルとなりうるような「実践報告」のほか、編集委員会が認めた論文等を掲載する。
  - (1) 原著論文は、理論、実験、事例、実践等に関する研究論文とする。
  - (2) 資料論文は、原著論文に準じた内容で、資料性の高い研究論文とする。
  - (3) 短報は、研究成果の速報や一次的な報告とする。
  - (4) 展望論文は、障害科学に関係のある課題について、内外の諸研究の成果を概観し、総合的に展望した研究論文とする。
  - (5) 実践報告は、実践報告会、事例研究会等でモデルとなりうる報告とする。
5. 論文は、査読委員によって審査され、編集委員会において、その掲載の可否が決定される。
6. 規定枚数を超過したもの、および図表、写真等の製版・印刷等、特に費用を要するものは、別途執筆者の負担とする。
7. 別刷りは執筆者の負担とする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は障害科学学会に帰属し、無断で複製あるいは転載することを禁ずる。
9. 投稿論文の内容について、十分に人権および倫理上の配慮がなされていなければならない。

## 執筆規定

1. 原稿の仕様 原則としてワープロを用い、A4判用紙に25字×32行(800字)で印字された原稿を提出すること。A4判用紙の原稿2.5枚は刷り上がり1頁に相当する。和文では、本文、文献、図表、要約をすべて含めた論文の刷り上がり頁数は、原著論文、資料、実践報告、展望は10頁を上限とする。英文では、本誌8頁 (approximately 550 words per page; including Abstract, References, Tables, and Figures) を上限とする。また、短報は和文で5頁、英文で4頁とする。これを超過する論文については、編集委員会にて掲載の可否を決定する。
2. 提出原稿 原著論文・資料ともに、オリジナル1部とコピー2部を添えて提出すること。また提出原稿はA4判とし、表紙には和文表題、英文表題、執筆者名、代表者の連絡先(電話番号を含む)を明記すること。なお、論文採択後には電子ファイルを提出する。
3. 図表など 白紙に黒色インクで明瞭に書かれたものを用い、写真を用いる場合は鮮明なものを提出すること。表や図の番号はTable 1, Fig. 1のように記入し、表題、説明ともに一括して別紙に記載すること。また、本文中にその挿入箇所を明示すること。
4. 和文要約 和文論文および英文論文には、問題、方法、結果、結論の概要をほぼ把握できるように、和文で400字以内の要約と3～5項目の和文キーワードを本文とは別葉にて提出すること。
5. 英文要約 和文論文および英文論文には、英文表題、200～300ワードの英文要約、3～5項目の英文Key Wordsを本文とは別葉にて提出すること。
6. 表記 新かなづかい、常用漢字、算用数字を用いること。外国人名・地名等の固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要な場合は初出の際にだけ原語を付す。文献は論文の最後にアルファベット順に一括して示すこと。雑誌文献記述の形式は、著者名、発行年、題目、雑誌名、巻数、論文所在頁の順とし、単行本文献記述の形式は、著者名、発行年、書名、出版社、出版地の順とする。
7. 註 必要がある場合は、本文中に1)、2) …のように上付きの通し番号で註を付し、すべての註を本文と文献欄の間に番号順に記載すること。
8. 印刷形式 印刷の体裁は編集委員会に一任する。
9. その他 執筆に関する詳細は、日本特殊教育学会の『「特殊教育学研究」和文論文執筆の手引き』と、最新のJournal of Special Education Researchの表紙裏Information for Contributorsに従うこと。